

科目	疾患と治療 I 総論、血液・造血器、循環器、呼吸器				
時間数	2単位 38 時間	授業方法	講義	授業時期	1 年
講師名	⑤泉谷美和 ④柿本真利 ④打田俊司 ④玉井守				
実務経験	⑤臨床検査技師(医療機関) ④医師(医療機関)				
ねらい	1. 人体の正常状態についての知識をもとに、病的な状態との比較ができる。 2. 臓器・組織の系統別に、身体内での病的変化と症状、回復促進のための治療を学ぶ。				
目標	1. 病因や病気の成り立ちについて理解できる。 2. 系統別に代表的な疾患を取り上げ、疾患と治療について理解できる。				
授業計画					
回	内容				
1	総論： 病理学とは				
2	循環障害、代謝障害、老化の理解				
3	先天性奇形、腫瘍、遺伝性疾患				
4	生活習慣による生体の障害の理解				
	まとめ				
6	血液造血器： (1)骨髄および血液の疾患 (貧血、白血球減少、血小板減少)				
7	(2)出血性疾患				
8	(3)腫瘍(急性白血病)				
	まとめ				
9	循環器： (1)虚血性心疾患				
10	(2)不整脈				
11	(3)弁膜症				
12	(4)心筋炎				
13	(5)先天性疾患				
14	(6)動脈系疾患 (7)静脈系疾患				
	まとめ				
15	呼吸器： (1)症状とその病態生理				
16	(2)感染症				
17	(3)間質性肺疾患				
18	(4)気道疾患				
19	(5)呼吸不全 (6)呼吸調節に関する疾患				
20	(7)肺腫瘍				
	まとめ				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 各講師が各々の担当領域について終講時に筆記試験を行った結果及び平素の学習状況を総合して 100 点満点で評価する。各試験、60 点以上を及第点とする。				
教科書	総論： 疾病の成り立ちと回復の促進①病理学：医学書院				
	血液： 成人看護学④血液・造血器：医学書院				
	循環器： 成人看護学③循環器：医学書院 疾病の成り立ちと回復の促進①病理学：医学書院				
	呼吸器： 成人看護学②呼吸器				